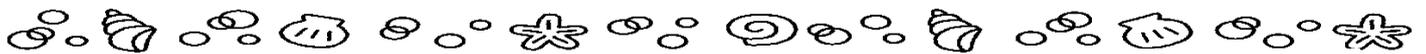




梅雨と夏の合間の、天気や気候の変化が大きい季節となりました。気温も上がり、熱中症が心配になりますね。園では帽子をかぶったり、こまめな水分補給をしたりして予防しています。ご家庭でも適正な空調管理や、時には、ゆったりとした休息を心がけてください。



気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

手足口病

口の中や手のひら、足の裏に2~3 cm位の発疹や水ぶくれができます。熱はあまり高くなりません。



プール熱(咽頭結膜熱)

高熱とのどの赤み・痛みを伴います。そのほかの特徴として目のかゆみ、充血、目ヤニなどがあります。



ヘルパンギーナ

突然の高熱とのどの痛み、水ぼうがができます。よだれが増えることも。



つめを切って 清潔に



つめが伸びていると、つめと指の間にばい菌が繁殖しやすくなります。

また、乳幼児の柔らかい肌を傷つける危険性もあります。

つめはこまめに切るようにしましょう。お子様が嫌がるようなら、一日一本ずつなど無理なく行ってください。

夏こそ、お風呂！

冷たいものばかり食べて、エアコンのきいた部屋にこもっていると、体も内臓も冷えてしまいます。代謝の良い子どもたちも冷えすぎると、夏かぜをひいたり、夏バテしてしまうかもしれません。入浴はシャワーだけで済ませず、湯船にしっかりつかって温まりましょう。汗をかいたら、お風呂上がりの水分補給も忘れずに！お風呂でリフレッシュして元気に夏を乗り切りましょう。



まちがいさがしコーナー

2まいの えには、ちがう ところが 3つあるよ



こんげつから、かんごしさんからのおたのしみコーナーがはじまったよ！
まちがいがわかったら、かんごしさんにこのかみをわたしてね。
なにか、すてきなプレゼントがあるよ。
ひとりではできないおともだちは、かぞくのひとといっしょにやってみてね♪

17日まで _____ クラス なまえ _____

キリトリ

【心と身体をたくましく】

今、この季節の中で命を守ることは熱中症対策でしょう。
よく言われている事は「水をこまめに飲むこと、塩分を取ることで
エアコンを上手に利用すること」でした。
また、ある人は「気候になれることと、体力をつけること」
であると言っていました。

今月私は「心と身体をたくましく」というテーマを考えてみました。

私たちは（社福）童心会の日常の生活を通して

「0歳からの人間教育」に取り組んでいます。

その中で子どもたちに身につけてほしい「一生モンの宝物」は

「たくましい 心と身体」です。

それは毎日の家族生活の中で生まれます。小さなお父さん、小さなお母さんという

家族の一員としてのお手伝いが人間を創ります。

その中で生れる自敬・自尊心が世の中のためになる人を育ててくれるのです。

さあ、今日から今から始めてみませんか？ありがたい言葉も忘れずに！！

社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲